

(別紙) 令和元年度第31回全国そば優良生産表彰受賞者一覧

令和2年2月18日 審査委員会決定

表彰の種類	受賞者名	所在地
農林水産大臣賞	農事組合法人 エコ・ファームてらお	福井県勝山市
農林水産省政策統括官賞	めかだ きくじ 目加田 菊次	岐阜県大野町
一般社団法人 全国農業協同組合中央会会長賞	こいぶち いきお 鯉淵 功	茨城県常陸太田市
	うちだ とういち 内田 東市	福井県勝山市
一般社団法人 日本麺類業団体連合会会長賞	農事組合法人 ^{おおきと} 大里ファーム	秋田県鹿角市
	なかの 中野生産組合	福島県郡山市
	やまぐち かずお 山口 一夫	茨城県筑西市
全国蕎麦製粉協同組合理事長賞	農事組合法人きずな	秋田県横手市
	うすい たみ 笛吹 巧	福井県南越前町
一般社団法人 日本蕎麦協会会長賞	もりい 晴男 森井 晴男	千葉県千葉市
	農事組合法人 ^{こうぼうだいし} 弘法大師ファームみつまた	福井県越前市
一般社団法人 日本蕎麦協会奨励賞	こいけ ともなが 小池 知永	長野県長野市

農林水産大臣賞	
氏名・集団名	農事組合法人エコ・ファームてらお (代表理事組合長 <small>もりなが しんいち</small> 森永 新市) 構成農家戸数=55戸
所在地	福井県勝山市
立地・生育条件	勝山市は福井県の北東部に位置し、市の周辺は1,000m級の山に囲まれている。年平均気温13.8℃、年間降水量2,719mm。当該ほ場は標高180m、暮見川の扇状地である。
年産	平成30年産
品種・単収・品質	大野在来(90kg/10a・1等)
そば作付面積	11.5ha (田11.5ha)
収穫量	10,361kg
労働時間	3.50時間/10a
生産費	20,232円/10a
機械化の現状	トラクター、溝切機、小畦立て播種機、汎用コンバイン
作付体系	大麦～そば～水稲(2年3作)
経営上の割合等	玄そば販売(11%) 平均13,474円/45kg
出荷状況	JAテラル越前
技術上の工夫 経営上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県農業試験場が開発した、新技術の「小畦立て播種」を採用し、発芽時期の降雨被害が極端に減少した。合わせて額縁溝切を徹底している。 ・自家採種をやめ、高価だが、品質が安定しているJAの種子を採用している。 ・そば収穫用の汎用コンバインは高価なため、地域のそば収穫を受託して受託収入も併せて投資効果を改善している。 ・完全有機栽培による環境配慮型農業に取り組んでいる。 ・豪雪地帯であり、大麦収穫後の裏作はそば栽培が最適である。当地は古くからそばの産地であり、品質の評価も高い。一定の収量が確保できれば経営安定に大きく寄与するので、引き続きそば栽培を拡大したいと考えている。

全国蕎麦製粉協同組合理事長賞	
氏名・集団名	<small>ふかい なぎ</small> 笛吹 巧
所在地	福井県南越前町
立地・生育条件	南越前町は福井県のほぼ中央、嶺北地域の南端に位置する。日野川西岸の開けたほ場であり、日照条件が良く風通しも良いため、土壌が適度に乾くそば栽培に適した場所である。
年産	平成30年産
品種・単収・品質	今庄在来(64kg/10a・1等)
そば作付面積	6.3ha (田6.3ha)
収穫量	4,050kg
労働時間	4.45時間/10a
生産費	16,300円/10a
機械化の現状	草刈機、トラクター、動力散布機、汎用コンバイン
作付体系	水稲～そば～水稲
経営上の割合等	玄そば販売(7%)平均16,000円/45kg
出荷状況	(有)斎藤製粉所、県内そば店、(株)カガセイフン
技術上の工夫 経営上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・溝切等による排水・湿害対策を徹底して実施している。さらに播種・耕起を同時に実施することで碎土率を高め、安定苗立を確保している。 ・連作障害回避のため、毎年栽培ほ場を変更し、前作の栽培にあたっては有機質肥料を投入することで土づくりによる収量向上を目指している。 ・収穫後は風味低下を防ぐためにすぐに自家の乾燥・調製施設で通風循環乾燥を実施して、調製・磨き作業を行っている。 ・出荷に際しては、こだわりのあるそば店・製粉業者と契約栽培を実施することで安定した販売先を確保するとともに、販売単価の向上も実現している。 ・毎年地元のおそば打ち愛好会へ一定量のそば粉の販売を行っている。 ・町内の特産品である今庄そばの伝統を守るとともに、福井県のそば文化のさらなる発展のために地域に伝わる今庄在来種のそばの生産・普及を試みるためにそばの栽培を導入した。今後は県外への販路開拓を考えている。

一般社団法人日本蕎麦協会会長賞

氏名・集団名	農事組合法人 ^{こうぼうだいし} 弘法大師ファームみつまた (代表理事組合長 ^{おきやま のりあき} 奥山 紀晴) 構成農家戸数=30戸
所在地	福井県越前市
立地・生育条件	越前市は福井県嶺北地方の南部に位置し、日本海性気候である。最深積雪が100cmを超える年もあり、年平均気温約14℃、年間降水量約2,400mmである。
年産	平成30年産
品種・単収・品質	今庄在来(87kg/10a・未検査(JA自主検査合格))
そば作付面積	7.7ha (田7.7ha)
収穫量	6,700kg
労働時間	2.35時間/10a
生産費	20,111円/10a
機械化の現状	草刈機、溝切機、トレンチャー、トラクター、モア、コンボキャスター、ロータリー、コンバイン
作付体系	水稻～大麦～そば(2年3作)
経営上の割合等	玄そば販売(7%)平均11,000円/45kg
出荷状況	JA越前たけふ(100%)
技術上の工夫 経営上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・そばの安定生産に一番重要な排水対策として、水田での暗渠施工を独自に進めるとともに、水稻とのブロックローテーションを実施している大麦後の明渠をさらに掘りなおして活用している。播種後は手作業による明渠の手直しを実施し、明渠内に滞留が無いよう細心の注意を払っている。 ・県農業試験場で開発された「小畦立て播種機」を平成30年産からいち早く試験導入することで、発芽苗立の安定のための研究に努めている。 ・高付加価値販売につなげるため、無農薬・無化学肥料栽培を全面積で実施し、有機質肥料使用や虫害対策としてフェロモントラップをほ場に設置。また、土壌改良材を散布。 ・農地の集積・集約や機会化による作業時間短縮、コスト引き下げ、作付体系の確立、契約栽培等を行うとともに、「小畦立て播種」「ICTブル」など新技術の試験導入も積極的に行っている。 ・限られた土地を有効活用するためにも大麦・そばの導入を行った。

一般社団法人全国農業協同組合中央会会長賞

氏名・集団名	^{うちだ とういち} 内田 東市
所在地	福井県勝山市
立地・生育条件	勝山市は福井県の北東部に位置し、市の周辺は1,000m級の山に囲まれている。年平均気温13.8℃、年間降水量2,719mm。当該ほ場は標高145m、滝波川の扇状地である。
年産	平成30年産
品種・単収・品質	大野在来(73kg/10a・1等)
そば作付面積	5.1ha (田5.1ha)
収穫量	3,696kg
労働時間	3.30時間/10a
生産費	17,866円/10a
機械化の現状	トラクター、溝切機、ブロードキャスター、ロータリー、播種機、コンバイン
作付体系	小麦～そば～水稻
経営上の割合等	玄そば販売(25%)平均13,514円/45kg
出荷状況	JAテラル越前(100%)
技術上の工夫 経営上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・播種は天気予報に注意し、土壌が良く乾いている日に行うようにしている。 ・排水の良い田や湿潤の少ない田を選び、播種予定田にはもみ殻を300kg/1反撒いている。また、排水を良くするために排水口位置を40cm以上深くし、排水溝も30cm以上深くした。 ・毎年農協から種子を購入し、種子更新をしている。 ・排水溝の作り方を工夫して30aを1人で50分以内に作業完了している。 ・規模は拡大できないため、そばの生育に適した田を選定することで、収量増加に結びつけたいと考えている。 ・今後は予備の乾燥機を使用し、自ら乾燥・調製を行い、自身で販売することも計画している。